

(様式1)

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>「地域との連携を図り、落ち着いた雰囲気の中で、家庭的なサービス提供に努め、目配り、気配り、心くばりをし、安全に生活していただける様に支援します。」という理念を職員全員で作った。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>毎朝の申し送り時、職員全員が唱和し、理念の実践に向けたサービスに取り組んでいる。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>広報誌の発行、ホーム内に理念を掲示し家族や、地域の人々に理解してもらえようしている。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>		<p>併設するデイサービス、児童館などを利用する人々との交流、合同による行事、地域における祭りなどへの参加、見学市民文化祭への作品の出品。入居者様との日常生活品などの買い物、天候の良い日の町内の散歩をしながら、住民の方々とのふれあいがあり、なじみの関係があります。又職員入居者とも地域の方が多く、町内行事、地域活動への積極的な参加をしています。(今後は、県、市でキャラバンメイトの講習が開催された時には、積極的に受講し、地域の認知症ケアの支援に役立てたいと、思います。)</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価についての認識、理解を周知徹底し、全職員がサービス向上に繋げていけるようにしたい。</p>	<p>開設後初めての外部評価であり、全職員で自己評価、外部評価を実施する意義を理解し、今後の改善策の検討につなげていけるようにして、行きたい。</p>
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームの取り組みや年間行事等の報告のほか、質疑応答を行い意見交換しており、意見や提言は全職員に周知し、今後のサービス提供に反映させている。</p>	
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>業務上の問題点などが、発生した場合など随時相談するように、している。又アドバイスをもらえるような働きかけをおこなっている。</p>	
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域権利擁護事業、成年後見制度について、学習会などで勉強している、必要に応じて利用者、家族に情報提供していきます。パンフレットなど準備し活用できるようにしています。</p>	
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>学習会等で、学ぶ機会を作り、全職員が認識したケアを、おこなっている。日常のケアの様子に注意を払い虐待防止に努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設当初から、地元職員が多く馴染みの関係ができている。利用者は、知ってる顔が多いので話しやすいと、喜ばれている。又職員の急な休みにも対応できる体制はできている。</p>		
<p><b>5.人材の育成と支援</b></p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>三笠苑全体で取りくんでいる。月1回学習会で、研修を受けている。他に外部での研修受講しており、学習会での報告会を行い全職員に周知徹底している。</p>		
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内での実習や勉強会を実施し、サービス向上に努めている。特にグループホーム5施設の情報交換、勉強会を実施している。又中弘南黒石地区グループホーム協会へ加入している。</p>		
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員互助会で親睦をはかっている他に、業務上の悩み、ストレスについては管理者が、職員の相談にのり、助言する。解決困難な場合には、上司に相談するように努めている。日頃から1人で問題を、抱え込めないように指導している。</p>		
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各種研修の参加、外部講師を招いての学習会の開催、各業務の担当などを決め各自が、向上心をもって働けるように努めている。又健康診断実施、心身の健康を保つ為の体制を整えている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談に来た方に対して、まずホーム内の見学して頂き、雰囲気を感じていただく事から始めている。不安な事、困っている事に関しても、相談者のペースに合わせじっくり聞く事している。</p>	
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>内容をよく理解するように努め、対応できることは対応するように努め、できないことは他部所と連携を取り、本人、家族の方が今必要としているサービスの提供に努めている。</p>	
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に本人にも、ホーム見学をして頂くように勧めている。自分の目で見ると、安心していただけるようにしている。それから双方の意向に沿ったサービス開始となるよう家族とも十分に話し合いを行い調整している。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の準備、後片付け、掃除、洗濯、繕いものなど、日常的な事を共にするようにしている。昔ながらの工夫や知恵など職員が知らない事などを、教えてもらい支えあう関係を築いている。共に過ごすなかで、喜怒哀楽を共有している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事等への参加、家族との外出、外泊、本人が不安などを訴え時は、家族に電話し安心していただくようにしている。又不安を取り除くために常に家族と連携をもち、報告、相談するようにしている。		
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者一人一人とコミュニケーションをとるようにしている。家族の方とは面会に来たときに、入居者の状況を必ず報告しお互いに、話しやすい雰囲気、相談しやすい雰囲気に努めている。		
27 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方、友人の面会を積極的にすすめている。朝食後に町内を散歩したり、馴染みの場所に出かけたりしている。又遠方にいる方には、手紙やハガキを書いて頂き連絡をとっていただく。(本人に書いていただくようにしている。)		
28 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	自尊心を尊重し、対立した場合には職員が中に入り、お互いの意見を聴き話題を転換したり、問題解決している。共に生活し一緒にいることで連帯感が生まれてきている。		
29 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院された方や、他施設利用になった方に対しても声掛けや、話をしたりし、職員の顔を覚えていただくようにしている。家族などからの相談があった場合には、できる範囲内で応じるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人希望、意向を聞き、予定に組み入れ外出などの機会をつくっている。理容、美容院など、本人の希望する店に連れていく。</p>	
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>全職員での生活歴、生活環境、など共有する事で、その方に共通した心配りのあるケアに努めている。プライバシーを守る事にも職員に統一している。</p>	
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>ホーム内の日課表はあるが、強制ではなく、本人の状態に合わせた過ごし方をしていただいている。居室で過ごされることが多い方に関しては、訪室し、声掛けをするようにしている。</p>	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回、ケアプラン会議を開催し、職員、管理者で話し合いを持ち計画を作成している。又家族の方にもプランを見ていただいている。本人、家族や希望を取り入れるようにしている。居室担当者を作り対応している。</p>	
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、本人の希望を重視した計画としているが、本人の状態が変化した場合は、必要な関係者と話し合い、新しい現状に既した計画に変更している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>35 個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子、ケアを個別に必ず記入し、変化が見られた時は申し送り時報告し、情報の共有につとめている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>			
<p>36 事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>当ホームでは、医療、連携体制をとっており、特別指示書による訪問看護を家族への説明と同意得ておこなっている。早期発見につながっている。</p>		
<p><b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b></p>			
<p>37 地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>市の広報誌を食堂のテーブルに置き、行事にも参加、見学するようにしています。又隣接する児童館での行事にも参加し、来館する方々と会話しています。</p>		
<p>38 他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>利用者の方が長期入院退所となった場合には、状況に応じたサービスの提供をする為、他のケアマネジャー、他事業所との話し合いをし、家族の方も交えて、他の事業所利用の支援をしている。</p>		
<p>39 地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>権利擁護や虐待などについても、包括センターから資料を取り寄せ、必要時対応できるようにしたい。</p>		<p>入居者の方で権利擁護などを必要になられた方がいた場合は、相談に行きたい。又当ホームが利用できるものがあれば、利用していきたい。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人のかかりつけ医に定期的に受診し、服薬している。本人の安心感も得られている。本人、家族の希望や、本人の状況に変化が見られたときなどは、随時対応している。		
41 認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	当ホーム入居後、認知症の症状が進行が見られる場合には、家族と相談をし、認知症の専門医の受診をすすめている。その後状況観察をし、家族に報告している。又緊急の場合にも対応し、家族に連絡をし連携を図り対応している。		
42 看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当ホームは、三笠訪看と医療連携契約をしているので、毎週看護師が来て、相談に応じてくれたり、血糖値、状態の観察をしてくれている。24時間体制をとっている。		
43 早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した場合は、職員が見舞いに行き、みんなが待っている、ということえを伝え、早く良くなりたいう気持ちをもって頂くようにしている。医療機関と利用者に関する情報を共有し、家族も含めた話し合いを行なう体制が整えられている。		
44 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	日常的な健康管理や、急変時の対応について利用者や家族、三笠ケアセンター、医療機関と話し合いを行ない、意思統一を図っている。		
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	三笠看護ステーションとの間で医療連携体制に対する業務委託を行なっている。又老人介護保険施設三笠ケアセンターとも常時連携をとっており、重度化、終末期に向けた、チームでの支援体制をとっている。		近隣の医療施設との協力もあり、重度化や、終末期に向けケアに取り組む体制は整っていると思います。マニュアル化するに向け取り組み作成中である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>46</p> <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ダメージが最小限となるよう、移転先への、利用者の状況や習慣、好み、これまでのケア方法等について、詳細な情報提供を行なう準備は常に整っている。</p>		
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>47</p> <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りを大切にし、できるだけ話を聞き、人生の先輩であるという尊敬の念を大切に言葉掛けを、心がけている。プライバシーの保護には十分配慮している。記録等は職員室カウンターの下にて管理している。</p>		
<p>48</p> <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>職員が、いつも利用者の相談に乗ってあげられるような体制をとり、本人が思いや希望を表せるように、働きかけている。</p>		
<p>49</p> <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>グループホームの日課表はあるが、本人のペースに合わせ強制はしていない。居室で編み物、縫い物、テレビを見たり、各自の楽しみもって過ごしている。又職員と共に食事作りをしたり、思い思いに過ごして頂いている。</p>		
<p>50</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>美容院、理容店、など本人が行きつけの店へ、行きたい日に予約をし、行ってます。出掛ける際は、洋服等も一緒に考えおしゃれをして、気分を替えて、でかかできるようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事下ごしらえ、準備、味付けなども手伝ってもらい、食器拭き、おしぼりたたみ、など積極的にしてくれています。朝、昼、夕職員も同じ食事を食べています。		
52 本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶、コーヒー、ジュースなど飲み物は、選べるようにしています。おやつも本人の状態に合わせた対応をしている。煙草は、喫煙場所を設けている。(現在喫煙する入居者はない)		
53 気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	定期的なトイレ誘導、声掛けをして、排泄パターンを習慣かして、できるだけ自力による排泄をしている。又失禁を少なくしていくよう支援している。排泄チェック表をつくっている。		
54 入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日は決めているが、本人の希望で変更はできる。随時入浴は可能。夏はシャワー浴など毎日している。それ以外の日は、足浴をしている。又近くの足湯にも出かけている。		
55 安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	週1回のシーツ交換をしている。又使い慣れている枕など持参して頂き使用している。季節に応じて布団の調節をしている。昼寝をすることも勧めています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	朝食後、近くの散歩、掃除、料理、縫い物、洗濯など、職員と共に行なっています。自分でできる事はして頂き、役割を持って頂いている。強制はせず各個人の意欲にまかせている。やりたい事、してみたい事などを聞き対応して、気晴らし、している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の了解のもとで、金銭管理が出来る人は自己管理している。又週1回買い物に行き、好きな物を購入している。		
58 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望があり、出きるだけ外出できるように、支援している。天気の良い日はドライブなどに出かけたり、苑庭で、おやつなどを食べピクニック気分を味わうなどしている。但し、あまり無理をさせないようにしている。		
59 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	天気の良い日は、極力戸外に出掛けるようにしている。テレビ、新聞を見て行き先を決めたりしている。年1回は全員で出かける日を作っている。又本人の行きたい場所など聞き、出かけられる様に支援している。		
60 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望時、職員が電話をかけてあげたり、本人がかけたりし、家族、知人との交流を支援している。		
61 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会にいらした方には、笑顔で接することを心掛け、いつでも気軽に来れるような、家庭的な雰囲気での接している。面会時間を設定しているが、家族の都合に応じた柔軟な対応を行なっている。		
(4)安心と安全を支える支援			
62 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	学習会で、身体拘束をしないケアについて職員は学習しており、実践している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自動ドアで対応しており、徘徊する方に関しては見守りをし、一緒に散歩に行くなどして気分転換を図るようにしている。		
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1ユニット、2ユニット入居者がいる。徘徊はないが、見回りはしている。夜間は1時間ごとの見回り実施し安全確認に努めている。また注意箇所に(2F)巡視カメラを設置して、24時間巡視している。		
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品や洗剤等、保管場所を施錠できる場所に保管し、服薬などは事務所にて管理し施錠している。使用する薬品等は注意事項明記しマニュアル化している。		
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ホーム内会議の際、入居者の状態を話し合い、事故防止に努めている。事故があった場合ヒヤリハット報告書等に記入し、全職員に報告し、整理し保管する。		
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	学習会を通し、緊急時の対応について学習している。又、消防署の方より応急手当の講習を受けている。応急時のマニュアルも作成している。		
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけをしている	総合避難訓練(通報、避難訓練、消化訓練)夜間想定避難訓練(年2回)実施。館内自主訓練(月1回)実施している。天気の良い日など非常階段の降りる練習をしている。又近隣の職員が多く、協力が得られている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		<p>家族が面会に来た時に、こちらでの生活や、状態を説明している。その状態に応じて予測される点などを話し合い、対応の仕方を見直している。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		<p>一人ひとりの持病、アレルギーの有無、留意事項を把握している。表情や顔色に変化あった時は、小さなことでも伝達ノートを活用し、朝夕申し送り時に伝達している。また異変があった際は受診をし、記録に残している。</p>
71	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>服薬の飲み忘れ等がないよう、服薬の確認をし、介助必要な方に関しては、介助している。受診後、服薬が変わった時は、全職員に伝達し記録に残している。処方箋の用紙を個人ファイルにて管理して、常に確認を取れるようにしている。</p>
72	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		<p>薬だけに頼らず、食材の工夫(ヨーグルト、りんご煮)など食し改善に努めている。又適度な運動、水分補給をし対応している。</p>
73	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		<p>学習会で口腔ケアについて学習し、理解している。毎食後、口腔内の洗浄、入れ歯の手入れを行なっている。入れ歯洗浄剤など使用して清潔保持に努めている。</p>
74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>栄養士がバランスを考え、メニュー作成している。入居者に合わせた対応(おかゆ、きざみ、ソフト菜、トロミ剤使用)など本人に合わせた対応をしている。毎食後の確認もしている。食べられない食品に関しては、代替品にて対応している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防に対しマニュアルを作り、全職員が、学習している。感染に関する情報を収集し、家族の方にもお知らせしている。新しい情報を収集するように努め、必要に応じて、マニュアルの見直しを、おこなっている。家族の方への協力もお願いしている。		
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	感染予防マニュアルを作成実行している。食材に関しては、食材係りを中心に在庫確認をし対応している。又、週間予定表に冷蔵庫の整理日も決め、衛生管理に徹底している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関テラスにテーブル、イスを置き苑庭にて、休息の場所になっている。又、周辺に野菜畑、花など植え楽しんでいる。		
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の方が怪我をしないように、置く物などに配慮している。手作り作品を置いたり、季節に応じて館内の飾りなどにも配慮し、雰囲気作りをしています。		
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1ユニット、2ユニット交流を図り、気軽に遊びに行けるようにしている。歌唱が好きな人、将棋が好きな人などが、出来る場所など確保している。座って話ができるように、長いす、など用意している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
81	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
83	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
84	<p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>苑庭の散歩、デイサービス、児童館の見学、交流。階段を利用した歩行訓練。広い苑庭、広い建物を利用して活動している。合同運動会など開催して楽しんでいる。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者様に体調変化がみられた場合、一分以内に病院があり、すぐ対応してもらう事が出来る。
- ・児童館、デイサービスがあり毎日、生活の変化がみられる。(行事等に参加あり、運動会なども合同でしている)
- ・苑庭が広く、散歩等が自由に(職員付き添いのもと)出来る。
- ・家族面会者がとても多く、利用者も安心出来ている。又ホームと家族の連携がとれている。
- ・利用者様、職員とも地元が多く、なじみの関係がとても良く出来ている。